

整備効果 1 災害に対する強靱な道路ネットワークの確保

奥漕道路・奥漕道路(Ⅱ期)の整備により、国道169号の交通不能区間※、すれ違い困難区間・見通しの悪い区間の解消が図られてきました。しかしながら、奥漕道路(Ⅲ期)の事業区間に並行する国道169号では、依然、すれ違い困難区間や防災点検要対策箇所などが残存しています。

奥漕道路(Ⅲ期)の整備により、これらの問題が解消し、災害時の物資輸送や復旧・復興活動において、迅速かつ円滑な交通が確保できることが期待されます。

※平成8年に、車による通行が不能だった区間(3.7km)が開通し解消。



国道169号の崩土状況
(令和5年台風7号)

幅員が狭く、すれ違いが困難な
国道169号の現況

整備効果 2 救急医療活動の支援

奥漕道路(Ⅱ期)の開通により、北山村～新宮市熊野川消防出張所の所要時間が短縮することが後押しとなり、北山村と新宮市で消防の広域連携体制が構築されました。

奥漕道路(Ⅲ期)の整備により、北山村や熊野市小森地区から新宮市医療センターまでの所要時間が短縮すると予想され、救急医療施設への60分圏域※の拡大等、救急医療体制の更なる向上が期待されます。

熊野市小森地区の救急搬送時間



整備効果 3 地域経済等への寄与

奥漕道路(Ⅱ期)の開通後、道の駅おくとろ付近の交通量が増加し、観光筏下りの1日あたり乗船者数やおくとろ温泉利用者数も増加しています。

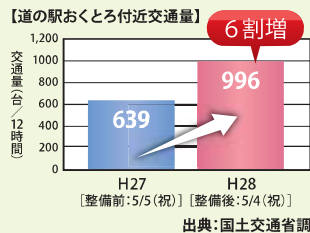
奥漕道路(Ⅲ期)の整備により、北山村へのアクセス性が増すことで、さらなる周遊観光の拡大や観光客の増加が期待されます。



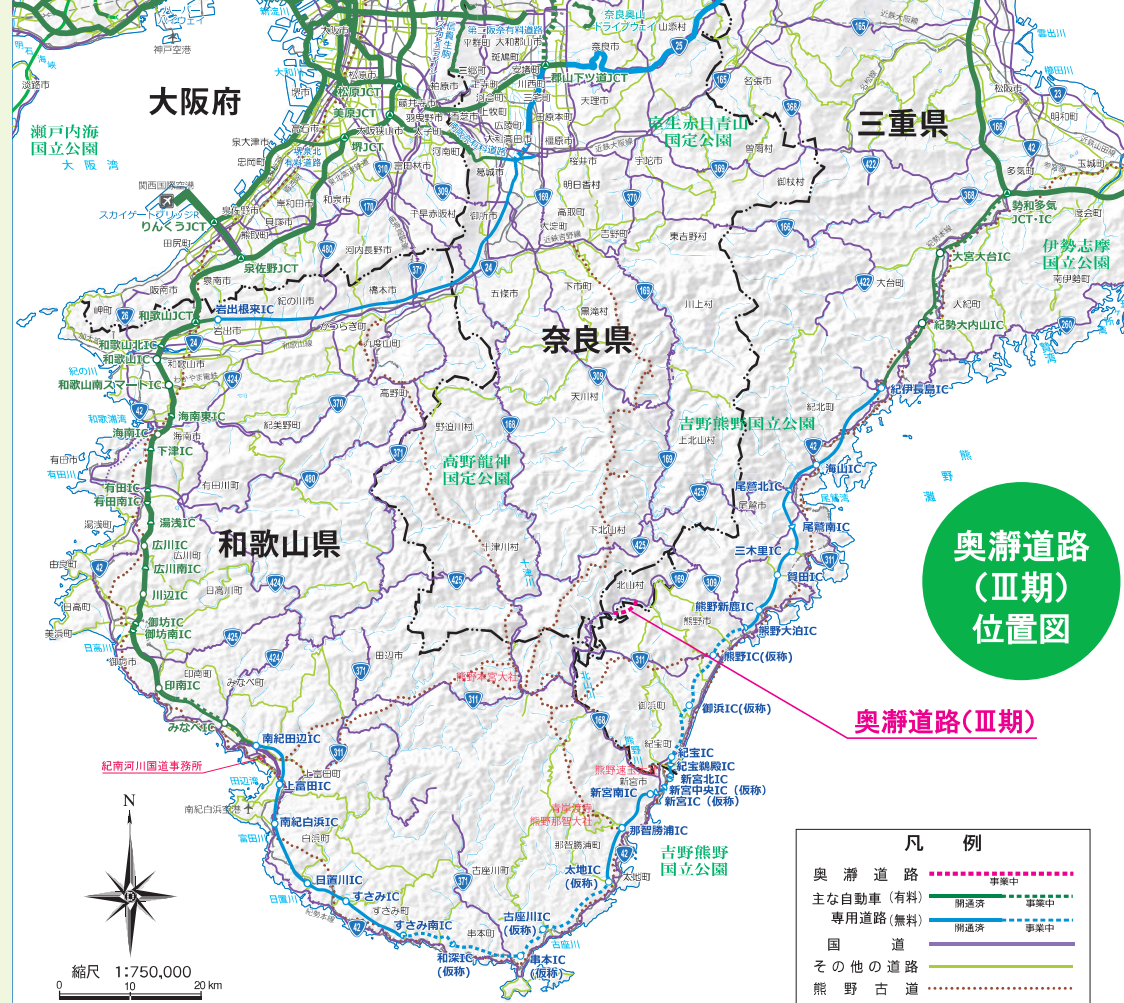
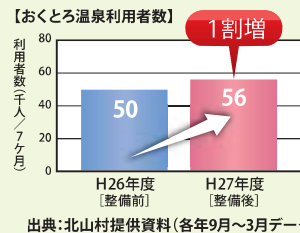
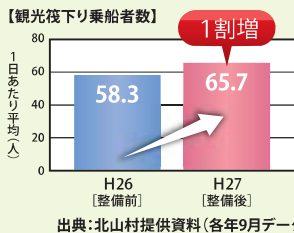
観光筏下り

おくとろ温泉

交通量の推移



観光入込客数の推移



新宮市熊野川町・東牟婁郡北山村「飛び地」ってなに

新宮市熊野川町玉置口地区と北山村は、和歌山県にありながら周りの全てを奈良県と三重県に囲まれ、「飛び地」という全国でも特異な地域です。これは、この地域が陸の孤島であり、木材の輸送には専ら河川を利用した水運で、和歌山県の新宮と密接につながっていたことに端を発しています。明治維新までは紀州新宮藩の支配下にあり、廃藩置県の際、新宮と共に和歌山県に編入されました。そのため、周囲の全てが他県となって、同地域だけが和歌山県としてボツンと取り残された飛び地村が誕生したわけです。



道の駅「おくとろ」(北山村)

国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所

〒646-0003 和歌山県田辺市中呂142 Tel.0739-22-4564(代)
【ホームページアドレス】http://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/



国土交通省 LINE 通報アプリ #9910

LINEで通報 #9910

道路の異常を発見したら 道路緊急ダイヤルへお知らせください。 #9910 24時間受付

※通報中の通報は道路交通法により禁止されています。安全な場所に停車してからのご通報をお願いします。